

令和4年10月7日14時00分
近畿地方整備局
大阪国道事務所

『銀橋 なおします！』 ～ 銀橋(桜宮橋)を未来に引き継ぎ管理していきます ～

「銀橋」の愛称で親しまれている国道1号桜宮橋は、昭和5年に架設された橋長188.85mのアーチ橋です。

銀橋は、日々の維持管理を経て現在に至り、天神祭や花見のシーズンなど多くの人に利用され、平成29年には桜宮橋（銀橋）の長寿を祝う会を開催し、地元のボランティア団体等による「橋洗い」等が行われるなど、地域の皆様に愛されている橋です。

建設から92年が経過し、劣化が見られるため、補修工事を行うことで銀橋を後世に引き継ぎます。

定期点検の結果、鋼材の腐食やコンクリートの劣化が見られることから、補修工事を実施することになりましたのでお知らせします。

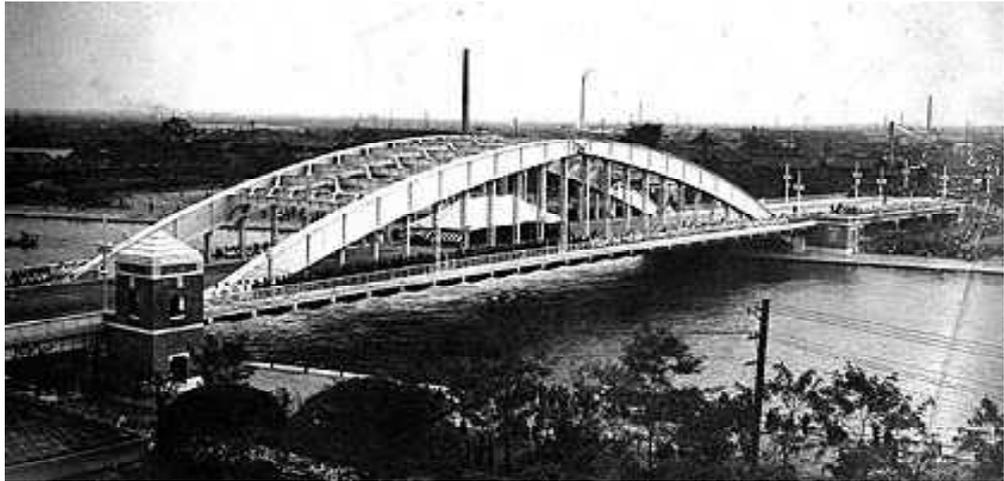
工事名 : 国道1号桜宮橋他補修工事
工期 : 令和4年8月11日～令和5年3月31日
着工日 : 令和4年10月11日
受注者 : JFEシビル(株)

工事期間中はご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、大阪市政記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所
副所長 奈良 明彦 (なら あきひこ)
総括保全対策官 井田 卓 (いだ たかし)
電話 06-6932-1421



昭和5年完成当時の桜宮橋(銀橋)

■桜宮橋(銀橋)とは

大阪市の大川(旧淀川)に架けられた国道1号の橋で、大阪市北区天満橋1丁目と都島区中野町1丁目を結んでいます。銀色の橋であることから、「銀橋」と呼ばれており、こちらの名称の方が有名となっています。

大阪市の第一次都市計画事業に基づいて建設され、昭和5年(1930年)に完成しました。設計は武田五一氏(「関西建築界の父」とも言われる建築家)で、付近は大川沿いに桜之宮公園が広がります。桜の通り抜けでおなじみの造幣局も桜宮橋の近くにあります。

なお、国道1号の拡張を目的に桜宮橋の北側に新桜宮橋(新銀橋)が建設されています。

■経歴

- ・昭和 5年(1930年) 完成
- ・昭和33年(1958年) 建設省(現国土交通省)に管理が移管
- ・平成18年(2006年) 新桜宮橋が完成(4車線から6車線へ)

■主な補修内容

- ・昭和53年度(1978年度) 上部工補修工事
- ・昭和55年度(1980年度) 下部補強工事(地中連続壁)
- ・昭和56年度(1981年度) 塗装工事
- ・平成20年度(2008年度)～平成22年度(2010年度) 耐震工事



ボランティア団体等による橋洗い



現在の桜宮橋(銀橋)

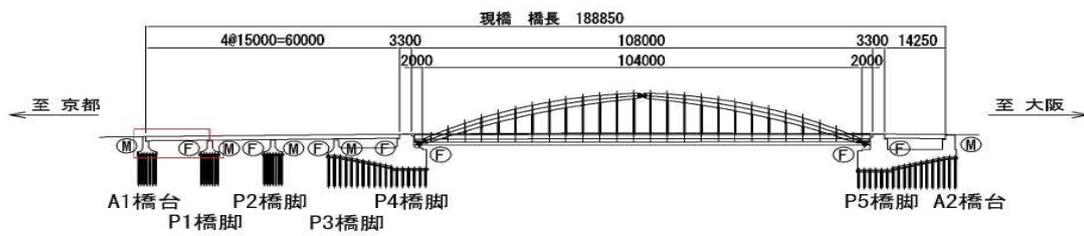
■位置図



■桜宮橋(銀橋)全景



■側面図



■劣化の状況



鋼材の腐食



コンクリートの劣化